

あいりん地域まちづくり会議にかかる第7回「駅前活性化検討会議」及び西成特区構想エリアマネジメント協議会第6回「地域活性化交流・観光専門部会」、「まちづくりハウジング専門部会」議事要旨

1 日時 令和元年12月16日（月）午前10時00分から午後12時00分

2 場所 西成区安心安全活動拠点「あいステーション」

3 出席者

（有識者）

阪南大学教授 松村嘉久、近畿大学准教授 寺川政司

（オブザーバー）

大阪市立大学教授 水内俊雄

（大阪市）

梅原経済戦略局観光部観光施策担当課長、川上 西成区役所地域支援担当課長
樽野都市計画局開発調整部地域開発担当課長、三代 西成区役所総合企画担当課長

（地域メンバー）

松本 萩之茶屋連合振興町会長第8町会長、大倉 萩之茶屋 第3町会長

福永 萩之茶屋連合振興町会女性部長、

山田 大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長、村井 西成区商店会連盟会長

上田 NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表

4 議題

（1）前回までの議論の振り返りと現状について

（2）あいりん総合センター跡地等の利用方法等について

（3）その他

5 議事要旨

（1）2045年までの人口推計について

（2）ワークショップで提案された意見の整理等

（3）意見等の概要

・にぎわいについては跡地の北側を基本に検討を行う。労働施設を北側に建設するのであれば、その理由について合議を行うことが必要。

・跡地を暫定的に広場として運用しながら、労働者の方が過ごしやすく、再チャレンジできるように、広場での事業から福利厚生や地域のほうへお金が回るような仕組みを提案したい。

・極力オープンスペースにしておいて、事例を示しながら共有していきたい。

・跡地の運用や運営の手法については、跡地にどのような機能が必要であるかがある程度決まってからの検討になる。

・跡地を企業に売却し、施設が建ってしまうと何もできなくなるため、小さな雇用をたくさん作り、流動的に雇用を生み出せるようにしたい。

・新今宮駅は電車が多く停まる駅であるため、ターゲットを定めれば屋台村なども、必ず人が集まると考えられる。

・市民館的な建物が建った場合、にぎわいは、屋根がある部分を交流の場として使わせてもらい福利施設利用者がにぎわい部分を利用するなど、相互の利用が考えられる。

6 会議資料

(1) 第6回駅前活性化検討会議 議事要旨

(2) あいりん総合センター跡地等にかかる利用検討 地域意見整理表 (案)